

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和6年7月9日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和6年7月9日（火） 13時30分～14時30分
開催場所	大会議室3-3
出席者職氏名	【政策推進会議メンバー】 松永市長公室長、村山総合行政部長、豊島総務部長、松田政策推進課長、尾崎人事課長、川幡財政課長 【担当・関連部課】 松井市民生活部長、滝田都市整備部長、今野教育政策部長、山崎上下水道部長、深町行政管理課長、佐野市民活動推進課長、増田環境推進課長、園原都市計画課長、新井道路課長、加藤建築開発課長、佐野学校教育課長、土崎生涯学習課長、岡田水道施設課長、吉田下水道課長、中森政策推進課主席主幹 （計21人）
欠席者職氏名	（計 0人）
説明員職氏名	中森政策推進課主席主幹 （計 1人）
議 題	朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想の現状と事業の今後について
結 果	令和6年度に朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想の策定に向けて取り組むとともに、基本計画策定を見据えた県等との協議・調整を行う。
事務局職員職氏名	村山政策推進課主事
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

松田政策推進課長が開会を告げる。

2 審議事項

＜朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想の現状と事業の今後について＞

- ・中森政策推進課主席主幹より概要を説明後、審議を行った。

○概要説明

（１）朝霞地区4市共用火葬場設置基本構想（素案）について

①4市の将来人口推計について

令和7年から50年後までの5年ごとの推計では、令和17年（2035年）の4市合計の将来人口が47万7,306人でピークとなり、その後は緩やかに減少に転じて行く推計である。

②4市の死亡者数推計について

令和7年の4市死亡者数推計合計の4,175人から緩やかに増加し、令和52年（2070年）が年間6,169人でピークとなる。この、6,169人を年間最大死亡者数として、火葬場の火葬炉の必要数算定の基準数値とする。

③必要火葬炉数の算定について

令和52年の年間最大死亡者数をもとに必要火葬炉数を算定すると、火葬炉14基、予備炉1基、動物炉1基を含め合計16基が必要となる。

④施設機能及び諸室について

施設構成は、火葬に直接関わる火葬部門、職員やバックヤードの管理部門、火葬参列者に関わる待合部門、葬祭を行う式場部門のほか、その他の付帯施設で火葬場は構成されることになる。

⑤式場の規模について

4市葬祭業者へのアンケート調査結果から、51人から100人用の大規模を1室、31人から50人用の中規模を1室の合計2室の設置と考えている。なお、中規模、大規模ともに部屋を分割して、小規模式場としても使用できる施設とすることで、幅広いニーズに対応できるよう検討を進めている。

⑥計画敷地概要について

- ・敷地面積が1万9,366㎡
- ・建築面積が4,855㎡
- ・駐車場は一般用160台、管理用40台
- ・緑地面積が4,800㎡

(2) 令和6年度スケジュールについて

- ・令和6年度は、候補地の測量業務を実施し、火葬場に係る基礎情報の整理や検討結果を踏まえて、基本構想完成予定
- ・市議会議員への説明については、各市において令和6年9月定例会の会期に合わせ、行う予定
- ・市民説明会については、10月から11月の間に、各市を会場にして開催予定
- ・パブリックコメントについては、令和6年11月から12月に実施予定

(3) 事業全体のスケジュール（案）について

令和6年度に建設地を決定した場合には、下記のスケジュールを予定している。

- ・令和7年度～令和8年度：基本計画策定、土地所有者との用地調整、一部事務組合への手続き、PFI等の調査・検討
- ・令和9年度：朝霞地区一部事務組合に事務を移行し、建設地の購入や土地の造成と並行して事業者の選定
- ・令和10年度～11年度：実施設計
- ・令和12年度～13年度：工事・完成
- ・令和14年度：供用開始

(4) その他

- ・集会所を含む火葬場であれば、開発行為の許可もしくは、都市計画決定後に事業認可を受けることが必要になることが想定され、そのうえで、実施主体を整理する必要がある。
- ・実施主体がどの時点で手続きを行うのか、今後、埼玉県と協議する必要がある。

メンバー：上下水の調整状況はどのようになっているのか。

関連部課：候補地は市街化調整区域であるため、下水道の事業区域ではない。公共下水道に流すことになると、国道254号を横断する形となることが想定され、その場合、横断先へ自然流下ができないため、ポンプが必要となり、維持管理等のコストもかかる。また、別な方法としては、浄化槽を設置することも考えられるが、候補地に排水路がないことが課題である。さらに、現状のパイプでは対応できないため、県との協議を含めて検討していく必要がある。

メンバー：国道２５４号を横断する箇所は上下水とも同一箇所になるのか。

関連部課：同一の箇所であることが理想である。

メンバー：議員及び市民説明会の実施時期は決定しているのか。

担当部課：議員説明会については、９月に行う予定である。また、市民説明会は１０月に２回実施予定であり、他の３市についても同様に２回実施する予定である。市民説明会については、広報等で周知する予定であり、近隣の町内会へは別途、回覧等でも周知を行うことも検討している。

メンバー：近隣の学校、その保護者への説明は予定しているのか。

担当部課：近隣の学校長への説明後に各校長の判断で保護者等に市民説明会開催も含めて周知を検討する。

メンバー：行政境界の確認は行っているのか。

担当部課：行政境界の確認については、法務局へ登記申請を行う際に、行政境界を含む場合、立ち会い及び証明を依頼される可能性はある。なお、現在は候補地の測量を行っている。

メンバー：各市の工事費等の負担割合は決めているのか。

担当部課：工事費等の各市負担については、按分方法等を今後、協議していく予定である。

○結論

令和６年度に朝霞地区４市共用火葬場設置基本構想の策定に向けて取り組むとともに、基本計画策定を見据えた県等との協議・調整を行う。

３ 閉会

松田政策推進課長が閉会を告げる。